

科目名 小児看護援助論 I	配当時期 2年次	講義担当者
時間割表記名 小児看護援助論 I	単位数 1単位	水上智之 右田昌弘
	時間数 30時間(16回)	渡邊 優

事前学習内容

小児看護学概論で学んだ子どもの成長発達について想起し活用できるよう準備する。

授業目標

1. 小児の疾患の病態・症状・検査・治療について理解できる。
2. 子どもにおける疾病の経過と看護について理解できる。

DPとの関連

- DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解できる。
- DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。
- DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。

授業の流れ

回	学習内容	方法	備考
1	1. 疾病・障害をもつ子どもと家族の看護 1) 疾病・障害が小児と家族に与える影響	講義 演習	テキスト① *2回 45分
2	(1) 病気・障害に対する子どもの反応 (2) 子どもの病気・障害に対する家族の反応		
3	2. 呼吸器疾患 喘息、上気道疾患：急性咽頭炎、クループ症候群 気管支・肺・胸膜疾患：気管支炎、肺炎	講義	テキスト②
4	3. 先天代謝異常症・染色体異常・体内環境により発症する先天異常 1) 出生前診断 2) 染色体異常：ダウン症候群、ターナー症候群他	講義	テキスト②
5	4. 循環器疾患 先天性心疾患、川崎病	講義	テキスト②
6	5. 消化器疾患 口腔疾患：唇裂・口蓋裂、舌の疾患 消化管の疾患：イレウス、狭窄症、ヘルニア 腹膜・腹壁の疾患：ヘルニア 肝臓・胆道の疾患：胆道閉鎖症	講義	テキスト②
7	6. 腎臓・泌尿器および生殖器疾患 糸球体・腎疾患：ネフローゼ症候群	講義	テキスト②
8	7. 神経疾患 神経系の先天異常：無脳症、二分脊椎、水頭症 けいれん性疾患：てんかん、筋疾患：筋ジストロフィー 8. 運動器疾患 先天性股関節脱臼、先天性内反足	講義	テキスト②

9	9. 血液・造血器疾患 貧血:再生不良性貧血 出血性疾患:血友病他、白血病 10. 悪性新生物 腫瘍:神経芽腫	講義	テキスト②
10	11. 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患	講義	テキスト②
11	12. 代謝性疾患・糖尿病	講義	テキスト②
12	13. 内分泌疾患	講義	テキスト②
13	14. 精神疾患 発達障害(神経発達症群)、不登校、ADHD	講義	テキスト②
14	15. 事故と外傷 不慮の事故:頭部外傷、誤飲・誤嚥、溺水、熱傷、熱中症	講義	テキスト②
15	16. 感染症 麻疹、風疹、伝染性紅斑、突発性発疹症、水痘 帯状疱疹、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、 流行性耳下腺炎、急性灰白髄炎(ポリオ)、百日咳	講義	テキスト②
16	筆記試験(45分)	試験(筆記)	
受講上の注意 ○小児看護学概論で学習した、小児の各発達段階の特徴と照らして学習する。			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 小児看護学1 小児看護学概論 小児看護学総論 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野 小児看護学2 小児臨床看護各論 医学書院 参考文献			